

令和6年度 第1回五所八幡宮祭礼記録作成調査委員会 議事概要

日 時 令和6年12月24日（火）14時00分～16時22分

場 所 中井町役場 3階 3A会議室

（出席者）小川委員長、加藤副委員長、高久委員、大山委員、三上委員、岩本教育長、
天野課長、槐参与、原主幹

（オブザーバー）五所八幡宮 中村宮司

計 10 人

1. 開 会

- ・ 天野生涯学習課長より、開会宣言を行う。

2. 教育長あいさつ

本調査を通じて、祭礼の文化財としての価値づけを明確にするとともに、地域の繋がりがより一層深まり、活気ある人づくり、町づくりに繋がることを期待する旨の挨拶と調査依頼があった。

4. 議 題

（1）調査の概略について

委員長より、五所八幡宮の祭礼では、山車は榊山車で学術的にも重要で、鷲の舞は全国的にも数少ない、また、神社棟札が多く保存されていることなどの説明があり、今年度は5名で祭礼の概要を把握しながら調査計画を立てる旨の説明があった。調査では、祭礼に関わる組織や祭礼に関わる食の文化など、幅広く行うなどの基本的な考え方が示された。

また、調査体制については、祭礼調査の成果を今後の町政にも生かせるよう、町の直営事業とし、職員にも積極的に関わりを持っていただきたい旨の要望が委員長からなされた。

（2）本年度の計画について

- ・ 本年度は5名での予備調査で、来年4月から3か年にわたり本調査に入る。
- ・ 令和7年度には、可能であれば祭礼調査の意図や成果の一部を町民に知ってもらう報告会（講演会）も予定したい。
- ・ 報告書作成は令和9年度に行うことを前提に予備調査も進める旨の依頼がなされた。
- ・ 今年度の予備調査は、①棟札等の確認、②4地区（宮本・藤沢・半分形・田中）での祭礼組織の概要確認、③鷲の舞の保存会の現状等の把握の3点を進めることを決定。

【検討事項】

- ・ 本調査の内容などについて検討をおこなった。具体的には、囃子の音楽的表記の件、調査分担などについてで、山車は4基あるので、祭礼時にはそれぞれに調査員を配置して、記録化を進める。また、山車については、その組み立てからの記録が必要。祭礼の変遷などを知るために、古写真の収集なども必要となるなど、本調査にむけて、出席者で検討を行った。

オブザーバーとして出席の中村宮司からは、今後の総代会、山車関係者の打合会、祭礼にむけての準備について、情報提供がなされた。

(3) 調査進行の調整などについて

- ・調査を進めるにあたっての事務局の作業と調査員との連絡法などを決め、これに従って年度内の予備調査の計画を策定した。
- ・調査員から提出する調査概要の内容についても協議した。

5. 閉 会

- ・ 天野生涯学習課長より、閉会宣言を行う。

以 上